

■サウジアラビア：再エネプログラムを創設

2017年1月16日の報道によれば、サウジアラビア政府は2023年までに3,000～5,000万ドル規模の再エネプログラムを創設する。16日に開催された国際再生可能エネルギー機関（IRENA）の年次サミットにおいて、ファリハエエネルギー大臣が発表したもので、今後数週間のうちに1,000万kWの再エネプロジェクトについて第一回入札が実施するとしている。ファリア氏は、「2030年までに国内の発電電力量の30%を低炭素電源にするという目標を達成するため、再生可能エネルギーと原子力発電に集中的に投資する」と語った。